## 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所再処理施設(東海再処理施設) 廃止措置計画書(変更) 添付資料3.変更箇所の新旧対照表

令和7年11月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

変更前	変更後	備考
添付資料1	添付資料1	
変更前の廃止措置計画書	変更後の廃止措置計画書	
廃止措置の方法,工程及び安全対策(概要)	廃止措置の方法,工程及び安全対策(概要)	
1. 廃止措置の方法	1. 廃止措置の方法	
(省略)	(変更なし)	
2. 廃止措置の工程	2. 廃止措置の工程	
(省略)	(変更なし)	
3. 回収可能核燃料物質を再処理設備本体から取り出す方法及び時期	3. 回収可能核燃料物質を再処理設備本体から取り出す方法及び時期	
(省略)	(変更なし)	
4. 特定廃液の固型化その他の処理を行う方法及び時期	4. 特定廃液の固型化その他の処理を行う方法及び時期	
(省略)	(変更なし)	
5. 安全対策	5. 安全対策	
(省略)	(変更なし)	
6. 廃止措置に係る品質マネジメントシステム	6. 廃止措置に係る品質マネジメントシステム	
(省略)	(変更なし)	
表 1-1 ~ 表 1-7 (省略)	表 1-1 ~ 表 1-7 (変更なし)	
表 1-8 性能維持施設(1/254)~(74/254)(省略)	表 1-8 性能維持施設(1/254)~(74/254) (変更なし)	

	変更前	変更後	備考
維持するが開開	直型   画社   類 2 2/2   射影 2   類 5   光條   光條   光條	#特字ペき期間 高放射性固体廃棄物貯 蔵庫の管理区域解除ま で 予備貯蔵庫内の分析廃 ジャグの取出しが完了 うるまで 汚染機器類貯蔵庫内の 分析廃ジャグの取出し が完了するまで 子値貯蔵庫及び汚染機 器類貯蔵庫内の分析廃 ジャグの取出しが完了 所完了するまで 子が高が水性固体廃棄 物貯蔵施設の管理区域 解除まで ウラン貯蔵所の管理区域 解除まで	セル内消火設備の設置に伴う 性能維持施設の追加 記載箇所の見直し (表1-8 性能維持施設 (76/ 254) へ移動)
5/254) 住能	・設備が使用できる状態であること。	5/254) 性能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
表 1-8 性能維持施設 (75, ) 設備名		表 1-8 性能維持施設 (75/ - 設備名称等 自動火災報知設備 消水栓(屋外) でル内散水装置 消水治具 消水治具 消水治具 消水格(屋内・屋外) 自動火災報知設備 消水栓(屋内・屋外) 自動火災報知設備 消水栓(屋内・屋外) 自動火災報知設備 消水栓(屋内・屋外)	
	消火部構	デ 	
無	高放射性固体 廃棄物貯蔵庫 (HASWS) 第二高放射性 固体廃棄物 貯蔵施設 (2HASWS) クラン貯蔵所 (UO3) 第二ウラン貯蔵所 (2UO3) 第三ウラン貯蔵所 (3UO3)	建家         高放射性固体 廃棄物貯蔵庫 (HASWS)         第二高放射性 固体廃棄物 貯蔵施設 (2HASWS)         ウラン貯蔵所 (UO3)         (前る)	
要求される機能	Post A 400	要 水される機能・消火機能・水災 (東文 ) 機能 (建家 ) 内)	
要求される機能	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 消火機能・火災 (建ツーク)	

変 更 前 変 更 後 備考 / レーフボックス内の分 析試料等の取扱いが完 了するまで 除染場の管理区域解除 まで 分離精製工場の管理区 域解除まで ウラン脱硝施設の管理区 域解除まで グローブボックス内の分 析試料等の取扱いが完 了するまで 記載箇所の見直し 第三ケラン貯蔵所の管理 区域解除まで ウラン脱硝施設の管理区 域解除まで 分離精製工場の管理区 域解除まで 分析所の管理区域解除 まで 除染場の管理区域解除 まで 分析所の管理区域解除 まで 維持すべき期間 維持すべき期間 (表1-8 性能維持施設 (75/ 254) からの移動) 排水モニ/ 域解除主 ・設備が使用できる状態であること。 ・設備が使用できる状態であること。 性能 在部 (76/254)(76/254)性能維持施設 性能維持施設 グローブボックス内水供給バ ルブ グローブボックス内水供給バルブ 自動火災報知設備 消火器 消火栓(屋内·屋外) 自動火災報知設備 消水器 消水栓(屋内·屋外) 自動火災報知設備 消水器 消水栓(屋内·屋外) 自動火災報知設備 消火器 消水栓(屋内·屋外) 自動火災報知設備 消火器 消火器 消火器 消火栓(屋内·屋外) 自動火災報知設備 消火器 消火栓(屋内·屋外) 自動水災報知設備 消水器 消水栓(屋内) 災報知設 自動火災報知記 消火器 消火栓(屋内) 設備名称等 設備名称等 表 1-8 消火器 消火器 消火設備 消火設備 クラン脱硝施設 (DN) 第三ウラン貯蔵 所(3UO3) クラン脱硝施設 (DN) 分離精製工場 (MP) 分離精製工場 (MP) 排水モニタ室 排水モニタ室 分析所(CB) 分析所(CB) 除染場(DS) 除染場(DS) 建家 建家 ·消火機能·火災 感知機能(建家 内) ·消火機能·火災 感知機能(建家 内) 要求される機能 要求される機能 表 1-8 性能維持施設 (77/254) ~ (81/254) (省略) 表 1-8 性能維持施設 (77/254) ~ (81/254) (変更なし)

変 更 前 変 更 後 備考 中和沈殿焙焼体の取板 いを完了するまで 分析廃ジャグの貯蔵へ の使用を完了するまで 貯蔵への使用を完了す ハル・エンドピース等の 中和沈殿焙焼体の取扱 貯蔵への使用を完了す ハル・エンドピース等の 分析廃ジャグの貯蔵へ の使用を完了するまで 維持すべき期間 維持すべき期間 いを完了するまで るまで ・警報設定値において警報を発報 する状態であること。 ・警報設定値において警報を発報 性能 する状態であること。 (82/254)性能維持施設 (82/254) セル内消火設備の設置に伴う 532FDT030 532FDT040-046 性能維持施設 532FDT030 532FDT041 532FDT042 532FDT043 532FDT044 532FDT045 532FDT046 性能維持施設の変更 532FDT031 532FDT032 P72TA\*04-1 532FDT031 532FDT032 P72TA\*04-1 設備名称等 設備名称等 表 1-8 温度警報装置 温度上限警報 温度警報装置 温度検知装置 温度上限警報 表 1-8 **洪** 装置 セル等 プルトニウム転換 技術開発施設 プルトニウム転換 高放射性固体 廃棄物貯蔵庫 (HASWS) 高放射性固体 廃棄物貯蔵庫 (HASWS) 技術開発施設 建家 建家 (PCDF) ・消火機能・火災 感知機能(セル 内) ・消火機能・火災 感知機能(セル 要求される機能 要求される機能 表 1-8 性能維持施設 (83/254) ~ (254/254) 表 1-8 性能維持施設 (83/254) ~ (254/254) (変更なし) (省略)

変更前	変更後	備考
別紙 1	別紙 1	
高放射性固体廃棄物の取出しが完了するまでの安全対策	高放射性固体廃棄物の取出しが完了するまでの安全対策	
高放射性固体廃棄物貯蔵庫(HASWS)における高放射性固体廃棄物の取出しが 完了するまでの間,以下の安全対策を実施する。	高放射性固体廃棄物貯蔵庫(HASWS)における高放射性固体廃棄物の取出しが 完了するまでの間,以下の安全対策を実施する。	
1.1 湿式セルライニングの健全性確認 (省略)	1.1 湿式セルライニングの健全性確認 (変更なし)	
1.4 乾式セルでの火災発生時の対策 これまで乾式セルに貯蔵している分析廃棄物の主な材料であるポリエチレンについて、試薬(硝酸、ドデカン)の接触を考慮した自然発火性を評価しており、自然発火の可能性がないことを確認している。その上で万一の火災に備えて、予備貯蔵庫においてはセル内散水装置を製作した。モックアップの結果を踏まえた上で配備する。汚染機器類貯蔵庫には、新たに排気ダクトに温度計を設置し常時監視する他、セル入気配管から消火作業を可能とする治具を準備する。 (省略)	1.4 乾式セルでの火災発生時の対策 これまで乾式セルに貯蔵している分析廃棄物の主な材料であるポリエチレンについて、試薬(硝酸、ドデカン)の接触を考慮した自然発火性を評価しており、自然発火の可能性がないことを確認している。その上で万一の火災に備えて、速やかに火災発生箇所の特定及び初期消火を行うため、各セルの温度を監視する温度警報装置を予備貯蔵庫及び汚染機器類貯蔵庫に設置し、常時監視するとともに炭酸ガス消火設備を予備貯蔵庫及び汚染機器類貯蔵庫の汚染機器類貯蔵庫に設置する。さらに、予備貯蔵庫及び汚染機器類貯蔵庫の消火設備であるセル内散水装置及び消火治具を準備する。 (変更なし)	セル内消火設備の設置に伴う 乾式セルでの火災発生時の対 策の変更